

## 【マレーシア】

### 1月の市場動向トピックス

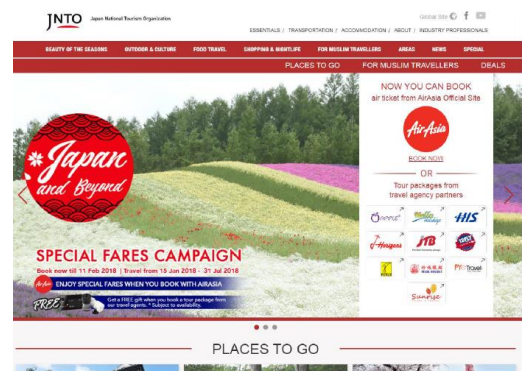
- 2018年1月の訪日マレーシア人数は、前年同月比9.9%減の31,100人となった。
- 継続的な訪日旅行プロモーションや、航空会社による特別運賃キャンペーンなどが訪日意欲を喚起したものの、昨年は1月末にあった旧正月休暇が今年は2月中旬となった影響が大きく、訪日者数は前年同月を下回った。

### 1月の主なプロモーション活動

- 1月11日～14日に、JNTO主催で「Japan Travel Fair」をクアラルンプール郊外のショッピングモールにて開催した。日本側出展者10団体が日本の魅力のプロモーションを行い、マレーシアの現地旅行会社12社が訪日旅行商品の販売を行った。特に雪と桜シーズンのプロモーションを行い、直近の旧正月と訪日第2ピークシーズンの3月下旬～4月に向けた訪日商品の販売強化を行った。会場は昨年と異なる会場であったが、訪日旅行商品の販売状況は概ね同程度であった。ステージイベントでは、オープニングの和太鼓演奏のほか、寿司デモンストレーションや射的ゲーム、日本の人気アニメキャラクターとの記念撮影など、日本文化やコンテンツを紹介するイベントを開催した。各出展者によるプレゼンテーションも合わせて、来場者に対して日本の魅力を発信することが出来た。また、会場のショッピングモールとの連携として、モール内商品一定金額以上購入者を対象として、訪日航空券などが当選する抽選会も実施した。
- FIT層の訪日旅行促進の一環として、LCC利用促進のために1月15日～2月11日まで、「Japan and Beyond」のキャンペーンタイトルでエアアジアXと共同キャンペーンを実施した。エアアジアXが就航しているクアラルンプールから新千歳、羽田、関西と3路線で片道RM389(約10,503円 1RM=約27円)からの特別価格を提示し、同社の保有する顧客ネットワークやプラットフォーム等も活用し、告知を行った。期間中キャンペーン特設ページを作成し、訪日旅行のモデルコースを提示することで周遊を促した。また、本キャンペーンにおいて連携するマレーシア現地旅行会社により、個人旅行者向け旅行商品が造成され、各社ウェブサイトや店頭において販促が行われた。



Japan Travel Fair 旅行博



エアアジアXとの共同キャンペーン特設ページ